



ミニアイリス

ハナニラ

スイセン

チオノクサ

原種系チューリップ

クロッカス

シラー・シビリカ

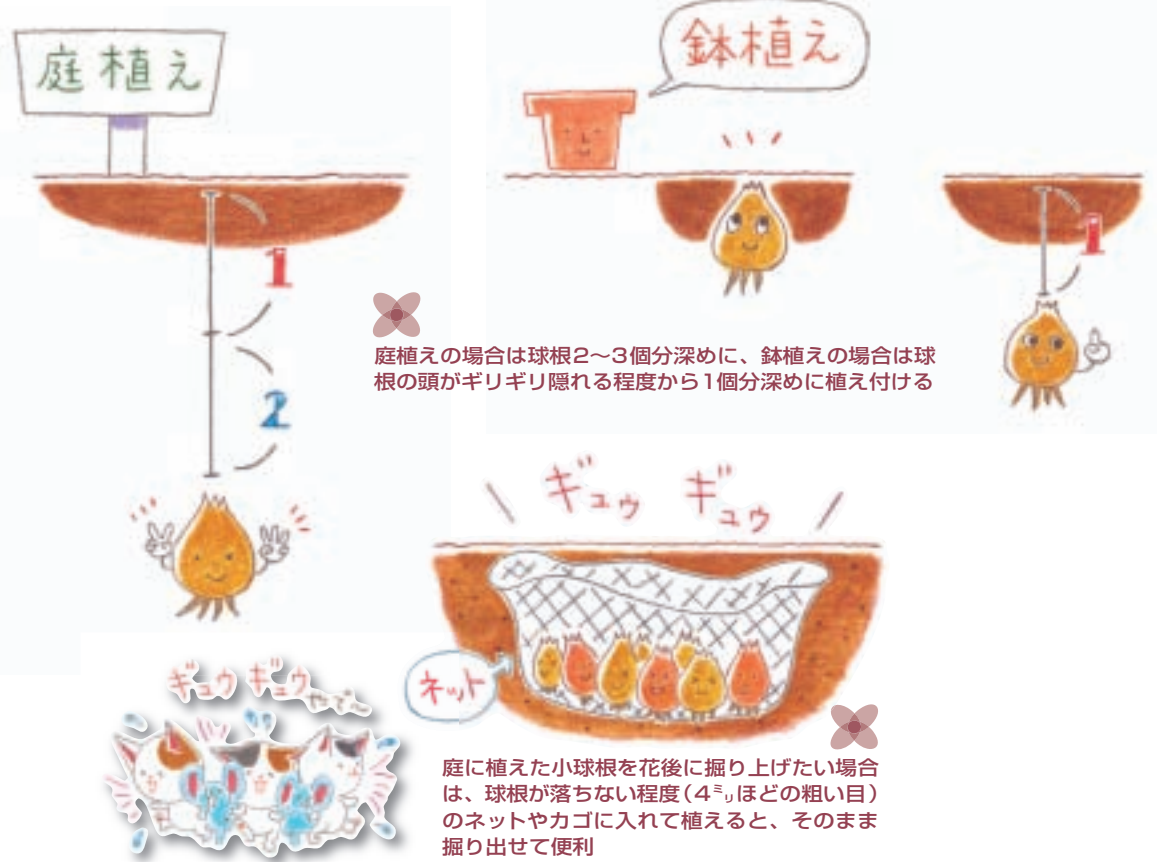


ネコ太

チュウ太

# 植えつ放しOKの 春咲き球根

球根の仲間は、ほぼ失敗なく花を咲かせてくれるスグレ物！花が終わった後、掘り上げて良い丈夫な物も多く、初心者にお薦めです。球が小さく草丈も低い小球根類は、花も小ぶりです、早春をかわいく彩ってくれます。



**冬は育てて**

乾燥から守ってくれるよ

鉢ごと植えるんだニヤ〜

ちっちゃな鉢を並べるとかわいいうる

**春にたのしむ**

小さな鉢は土の量が少なく乾燥しやすいので、鉢ごとプランターの土の中に埋めても良い。春になったら鉢を掘り出して、棚や大きなカゴ、トレーなどに飾る。数球植え付けた小さな鉢をたくさん並べると、雑貨のようでかわいい。

## 【植え付け】

球根を選ぶ際は、かびが生えたり、干からびたり、発根したりしている物は避け、持ち比べて重い方にします。植え付けは10月から12月初めが適期。暑い時期だと土の中で球根が腐ったり、かびたりしやすく、遅いと開花が遅れ気味になります。

草花が育つ場所ならおおむね大丈夫ですが、ほとんどの球根は水はけと日当たりが大好き！庭植えの場合は、落葉性の樹木や冬に地上部が枯れるタイプの宿根草のそばがお薦めです。開花期は日がよく当たり、花後の枯れた葉を他の植物が隠し、夏の強い日差しが遮られてよく分球する、と一石三鳥！大きな鉢やプランターにビオラやパンジーなどと一緒に植えると、球根植物が咲くまでそれらの花が楽しめ、水やりを忘れることもありませぬ。小球根は、1球ずつ間隔を空けて植えるより、何球か詰めて植えましょう。群生したように開花し、自然でかわいい雰囲気になります。

## 【開花まで(冬の管理)】

ポイントは寒さに当てることと水やり。寒さに当たらないと花が咲かないので、鉢植えは屋外に置きます。冬は芽が出てこないのも水やりを忘れがちですが、土の中では根が少しずつ伸びています。土の表面が乾いたら、必ず水やりを。芽が出始めたら、液体肥料を与えて生長を促します。

## 【花が終わったら】

種を付けないように、花からはまめに摘み取ります。咲き終わった球根は休眠の準備に入るので、水やりを止めます。庭植えや大きめの鉢、プランターは、植えたまま構いませんが、小さな鉢に詰めて植えた場合は、夏場の温度管理が難しいので、葉が黄色くなったら掘り上げましょう。球根(一部の種類を除く)は網に入れて、風通しの良い冷暗所で保存してください。

●「緑と暮らそう」のバックナンバーは本誌ホームページで見られます。ネコ太・チュウ太も活躍していますよ！お気楽Life、今まで身に着けた衣装やかぶり物、たくさんのももだち……かわいい姿が満載です。「読売ライフ」で検索してみてください。